

大使館情報

2023年8月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（7月の出来事）

【内政】

- (1) 税制改革法案が下院を通過
- (2) 国税不服審判審議会（Carf）に関する法案が下院を通過
- (3) 観光大臣の交代

【外交】

- (1) 第62回メルコスール首脳会議
- (2) 茂木自由民主党幹事長の訪伯
- (3) 第3回 EU-CELAC 首脳会議
- (4) ニーランド米 국무次官の訪伯
- (5) ルセーフ新開発銀行総裁がプーチン大統領と会談
- (6) 当地メディアによるゼレンスキー大統領へのインタビュー
- (7) ルーラ大統領、ペニャ・パラグアイ次期大統領と会談

3. トピックス

- (1) 日本人ブラジル移住 115 周年記念：連邦上院議会レストランにおける「国際和食ウィーク」の開催（6月28～29日）
- (2) 林大使のミナスジェライス州及びサンパウロ州訪問（7月5～8日）
- (3) 林大使のサンタカタリーナ州訪問（7月19～20日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（7月発表の経済指標）

- (ア) 5月の鉱工業生産は前月比+0.3%、前年同月比+1.9%となった。
- (イ) 5月の小売売上高は前月比▲1.0%、前年同月比▲1.0%となった。
- (ウ) 6月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比▲0.08%となった（前月：+0.23%）。直近12か月累計は+3.16%となり、前月（同+3.94%）から上昇幅は0.78%ポイント縮小した。
- (エ) 失業率（4月～6月）は8.0%となり、3か月前（1月～3月）の移動平均8.8%から0.8%ポイント低下。また前年同期（2022年4月～6月）の9.3%から1.3%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、7月28日時点で、GDP成長率予測については、2023年は+2.24%（前週から変わらず）で、2024年は+1.30%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2023年は4.84%（前週から0.06%ポイント下落）で、2024年は3.89%（前週から0.01%ポイント下落）となった。

(2) 経済政策等

連邦議会下院は、7月7日、付加価値税の創設を中心とする税制改革に係る憲法修正案を可決。連邦及び州・市における新たな付加価値税（CBS及びIBS）や、環境・健康に影響を与える物品への選択税の創設の他、地方開発、既存の税制優遇措置の補填、アマゾナス州経済に関連する3つの基金の創設等が含まれる。今後上院において審議が行われる。

(3) 金融政策

8月1日及び2日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を0.50%引き下げて13.25%とすることが決定された。次回会合は9月19日及び20日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 7月の為替市場は4.72～4.90リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は4.79～4.90リアル/ドルで推移。国内での税制改革の前進や、内外の物価動向や金融政策を巡る動向等を材料に上下して推移した。
- (ウ) 月の後半は4.72～4.83リアル/ドルで推移。内外の金融政策を巡る動向や、伯信用格付けの引上げ等を材料に上下し、概ね上昇傾向で推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 7月の株式市場は117,426～122,560ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は117,426～119,673ポイントで推移。国内での税制改革の前進や、内外

の金融政策を巡る動向等を材料に上下し、概ね下落傾向で推移した。

(ウ) 月の後半は117,552~122,560ポイントで推移。資源価格の動向等や信用格付けの引上げ等を材料に上下し、概ね上昇傾向で推移した。

2. ブラジル政治情勢（7月の出来事）

【内政】

- (1) **税制改革法案が下院を通過** * 1. ブラジル・マクロ経済情勢の(2)にも同トピック記載
連邦議会下院は、7月7日、付加価値税の創設を中心とする税制改革に係る憲法修正案を可決。2回の採決において、憲法修正案(PEC)の可決に必要な308票を大幅に上回った(第1回382票・反対118票、第2回賛成375票・反対113票)。
- (2) **国税不服審判審議会(Carf)に関する法案が下院を通過**
7日、連邦下院において、国税不服審判審議会(Carf)の運用見直しに関する法案が可決された。同審議会における訴訟において、評決が同数だった場合、これまでは納税者側が勝訴ということになっていたが、この法案が通れば、国側が勝訴することになり、結果的に政府の歳入が改善することが見込まれる。
- (3) **観光大臣の交代**
14日、ダニエラ・カルネイロ観光大臣が罷免され、セルソ・サビーノ下院議員が新たに観光大臣に任命された。

【外交】

- (1) **第62回メルコスール首脳会議**
4日、アルゼンチンのプエルト・イグアス市で第62回メルコスール首脳会議が開催され、ブラジルはメルコスールの輪番議長国に就任した。主に、EUメルコスールFTAが議題に取り上げられ、特にEUからブラジルへの環境問題に関する新たな要求に関して協議された。
- (2) **茂木自由民主党幹事長の訪伯**
12日、茂木自由民主党幹事長、堀内同副幹事長、山下同副幹事長が訪伯し、ヴィエイラ伯外務大臣、アダッジ財務大臣等と会談を実施した。ヴィエイラ外相との会談においては、日伯の伝統的な友好関係や、政治、経済、領事の各分野における二国間関係促進について協議された。
- (3) **第3回EU-CELAC首脳会議**
17日及び18日、ベルギーのブリュッセルにおいて、第3回EU-CELAC首脳会議が開催された。共同声明のウクライナ紛争の箇所について、ボリッチ・チリ大統領は、ロシアを非難することに同意しなかった国に不満を表明し、それに対し、ルーラ大統領は、ボリッチ大統領を批判した。また、同首脳会議のマージンにおいて、マクロン仏大統領主催によるベネズエラ情勢に関する会合が行われ、ルーラ大統領、ペトロ・コロンビア大統領、フェルナンデス・アルゼンチン大統領、ボレルEU外務・安全保障政策上級代表、ロドリゲス・ベネズエラ副大統領、ブライデ・ベネズエラ統一プラットフォームコーディネーター(野党代表)が出席した。ルーラ大統領がベネズエラ情勢に関する会合に出席したのは今回が初めてであった。

(4) ニーランド米国務次官の訪伯

20日、ニーランド米国務次官が訪伯し、アモリン伯大統領府首席補佐官及びロシャ伯外務省次官と、それぞれ会談を実施した。ニーランド米国務次官は、上記のベネズエラ情勢に関する会合に関して、「伯のリーダーシップ及び外交的手腕が、マドゥーロ・ベネズエラ大統領に影響を与え、自由で公正な選挙が行われるようになることを期待している」と述べた。

(5) ルセーフ新開発銀行総裁がプーチン露大統領と会談

26日、ルセーフ新開発銀行（NDB、BRICS 銀行とも呼ばれる）総裁は、プーチン大統領と会談した。同会談においては、8月に開催される BRICS 首脳会議や NDB の拡大について話し合われた。ルセーフ総裁は「NDB は、ロシアが欧米の制裁に対処するのを支援するものではない」と述べるとともに、「より多国間で多極的な世界」を擁護し、ロシアを「BRICS と NDB における偉大なパートナーである」と述べた。

(6) 当地メディアによるゼレンスキー・ウクライナ大統領へのインタビュー

26日、当地主要大手メディア Globo News によりゼレンスキー大統領へのインタビューが行われた。ゼレンスキー大統領は、「ルーラ大統領をキーウに招待したが、拒否された。ルーラ大統領との会談は両国間の関係を改善し、強化するために不可欠なものだ。もしルーラ大統領からの招待があり、国内が困難な状況でなければ、私はブラジルを訪問するつもりである」と述べた。

(7) ルーラ大統領、ペニャ・パラグアイ次期大統領と会談

28日、ルーラ大統領はペニャ次期大統領と会談した。会談では、主にイタイプ条約（両国によるパラナ川の水力発電開発に関する法的文書）の見直し、メルコスール、ベネズエラとの関係再構築等について話し合われた。

3. トピックス

(1) 日本人ブラジル移住 115 周年記念：連邦上院議会レストランにおける「国際和食ウィーク」の開催（6月28～29日）

6月28日～29日、連邦上院議会レストランにおいて、「国際和食ウィーク」が開催された。同イベント開催に向けては、野原一峰・大使公邸料理人が二日間にわたるレストランへの調理研修とイベント当日の調理監督を務め、当館としても成功に向けて全面的に協力を行った。

イベント開催中、レストランでは、2日間で450人余りの来客を得、多数の方に本格的な日本料理をコースで楽しんでもらうことができた。28日には、ファバロ農務大臣、アルベス上院議員、ルーカス上院議員も来訪し、林大使と和食を楽しんだ。

また30日には、野原料理人は全国商業研修機関（SENAC）において Aula-show を行い、天丼の作り方を指導した。（Aula-show の様子は [こちらの](#) リンクからご覧ください。）



会場の様子



カルロス・ファヴァロ農務大臣の来訪

(2) 林大使のミナスジェライス州及びサンパウロ州訪問 (7月5~8日)

林大使は、7月5~7日にミナスジェライス州、同月7~8日にサンパウロ州を訪問した。

5日午後、林大使は、日本経済団体連合会とブラジル全国産業連盟(CNI)が主催し日ブラジルのビジネスリーダー400名超が参加した第24回日本ブラジル経済合同委員会の開会セッションに登壇し、脱炭素化・クリーンエネルギー、デジタル等の分野での日本政府の取り組みを紹介しつつ、日・ブラジル及び日・ミナスジェライス州間の経済交流促進を期待する旨挨拶を行った。続いて、同じく開会セッションに出席したロメウ・ゼマ/ミナスジェライス州知事を表敬し、ビジネス関係強化や地域警察分野での協力含め、日本とミナスジェライス州の関係強化の方途につき意見交換した。さらに、林大使は、ミナスジェライス州の経済・経営・ビジネス専門誌である、ディアリオ・ド・コメルシオ紙によるインタビューを受けた。

(掲載記事は、[こちら](#)を参照ください。)



日ブラジル経済合同委員会への出席



ロメウ・ゼマ/ミナスジェライス州知事への表敬訪問

6日は経済合同委員会2日目のセッションに出席した後、同日午後、ベロオリゾンテ市に所在するミナス日伯文化協会の会館を訪問し、同敷地内の日本語モデル校やレクリエーションホール等を視察した。さらに、林大使は、ミナスジェライス州最古の新聞社であるエスタード・ジ・ミナス紙によるインタビューを受けた。(掲載記事は[こちら](#)を参照ください。)

6日夜には、ミナス日伯文化協会の幹部7名と、同協会の活動状況や今後の連携方途につき意見交換を行った。

7日午前は、ロドリゴ・ピアッシ・ド・ナシメント/ミナスジェライス州軍警察司令官を表敬し、日・ミナスジェライス州間で続く地域警察分野での協力等につき意見交換した。続いて、同州軍警察管区内の移動式交番システムを視察した後、同管区内で軍警察とも協力している現地校を訪問し、護身術としてブラジリアン柔術等を習う子どもたちによるデモンストレーションを含む歓迎行事に出席した。



ミナス日伯文化協会訪問



ミナスジェライス州軍警察総司令官への表敬及び視察

7日夕方から夜にかけては、在サンパウロ総領事公邸にて、小原彰氏（元陸軍航空部隊司令官）に対する令和4年春の外国人叙勲伝達式が開催され、林大使から小原氏へ旭日小綬章を授与した。

8日午前、林大使は、サンパウロ・エキスポ・エキシビション&コンベンション・センターで開催された、ブラジル日本都道府県人会連合会（県連）主催「第24回日本祭り」に出席し、JICAブース、JETROブース等を視察した後、開会式に登壇し挨拶した。また、開会式に出席したフレイタス/サンパウロ州知事他とも挨拶を交わした。8日午後、サンパウロ州サンロケ市のブラジル日本文化福祉協会（文協）国士館公園にて開催された、文協主催「第26回桜祭り」を訪問し、同公園内の施設及び出展ブース等を視察しつつ、同祭り関係者と意見交換を行った。



ブラジル日本都道府県人会連合会（県連）主催「第24回日本祭り」への出席





文協主催「第26回桜祭り」への出席

(3) 林大使のサンタカタリーナ州訪問（7月19～20日）

林大使は、7月19～20日にサンタカタリーナ州を訪問した。

19日午前、林大使は、トパジオ・ネット/フロリアノポリス市長を表敬し、漁業やIT等含む様々な分野での今後の協力可能性につき意見交換を行った。さらに、ジョルジーニョ・メロ/同州知事を表敬し、経済分野や日系社会との連携等につき意見交換を行った。引き続き、同州知事主催昼食会に出席した。

19日午後、サンタカタリーナ州上下水道会社（CASAN）を訪問し、日本政府の円借款により整備中の下水道処理設備や工事の進捗等につき説明を受けた後、整備中の下水処理設備の一つを視察した。19日夜には、フロリアノポリス在住の日系人関係者5名と、現地日系社会の課題や今後の連携方途等につき意見交換した。

20日午前、フロリアノポリス市内ペリ湖沿岸に位置するCASAN運営の浄水場を視察した。20日昼には、フロリアノポリス在住日系人関係者を含む7名とサンタカタリーナ州の政治・経済等情勢や今後の日系社会及び元訪日研修生・国費留学生との連携方途等につき意見交換を行った。

20日午後、過去に日本政府がJICAを通じ土砂災害ハザードマップの作成や土石流対策の計画等を支援したサンタカタリーナ州防災局を訪問し、同局内に設置された防災のための州内モニター設備、気象観測システム等を視察した。さらに、NSC局（サンタカタリーナ州のグローボ系プレス）を訪問し、同局ラジオCBN Floripa番組内に生出演しインタビューに応じた。



トパジオ・ネット/フロリアノポリス市長への表敬



若宮丸漂流民上陸記念碑視察



ジョルジーニョ・メロ/
サンタカタリーナ州知事への表敬



サンタカタリーナ州上下水道会社（CASAN） 往訪



サンタカタリーナ州防災局視察



NSC 局によるインタビュー

4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館：[facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所：[facebook](#)

在マナウス総領事館：[facebook](#)

在レシフェ総領事館：[facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館：[facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館：[facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館：[facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和5年度第1四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2022年4月5日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2022年8月1日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2023年4月11日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html